

第1回茨城空港ターミナルビル機能強化検討会 議事録

日時：2026年4月30日（木）13:30～15:15

場所：茨城空港旅客ターミナルビル 2階A会議室

議事要旨

- ・挨拶（茨城県営業戦略部 森 理事兼空港振興監）
- ・設置要項案の説明（事務局：茨城県営業戦略部 空港振興課）
- (1) 検討会の目的と論点、進め方（案） …資料4
意見なし
- (2) (3) 現状と課題、拡張・機能強化検討の方向性 …資料5

【主な意見】

- ・茨城空港将来ビジョンにも記載のある小美玉市のまちづくりと茨城空港の連携として、今年3月に**新交流拠点**を令和12年供用開始予定として、**実施計画**を策定した。茨城空港と合わせて広く空港利用者の**魅力ある施設**にしていきたいので、次回検討会の際に実施計画の紹介をしたい。
空港ターミナルビルには茨城の特色ある地域振興に資する商業施設が入ることを望んでいる。
- ・国内線は8便運航しており、6月から千歳便を増便して9便となる。10月からの運用時間延長により利便性や航空機の稼働率も向上するので、延長いただき感謝している。ビル**拡張**については**複数便の運用が可能な施設がマスト**。保安検査場の課題として、**従業員専用の通路が確保されるのが望ましい**。
- ・国際線の旅客動線は、入国後、手荷物受取、税関手続きとなるが、最大180人到着すると130人対応の施設では**狭隘**。韓国便の半分はゴルフ客であり行列となる。ゴルフバックを倒すこともあり危険であり、**安全で快適な広さが必要かと思われる**。最新の機器導入も進めており調整しながら進めていきたい。
- ・某地方空港では、茨城空港と同様にターンテーブルは1つであったが、税関検査場全体のスペースは2～3倍あった。それでも韓国便ではフロアにゴルフバックが多く並び、**動植物探知犬の活動に支障が出る**ことがある。
また、海外から家畜の伝染病が入るのを防ぐため、ターミナルビル入口に**靴底消毒のマット**を設置しているが、その先の汚れや滑りが発生することがあり、設置場所の**素材等も考慮してもらいたい**。
- ・東関東自動車道の整備で旅客のアクセスの利便性が向上し、旅客が増えると思われる。某地方空港では2階で入国管理・検疫を行い、1階で動物検疫、植物防疫、税関検査を行うが、茨城空港は1階に集約されており、**バリアフリーで良い**。ただ、旅客が増えると、**エレベーター等の増設も必要**になってくる。また、**飲食店の拡張、利便性向上を期待**したい。
- ・バスは、関東鉄道と茨城交通が運行している。茨城空港は駐車場が充実しているのでマイカー利用が多いが、**公共交通の利用が増えるよう、バスへ乗換が進むよう利便性の向上についても検討**してもらいたい。ダイヤに縛られるので利用しづらいとの意見もあるので、将来的に少しでも公共交通の運行便数を増やしていくことを目指していければよい。

- ・駐車場は今後も無料で継続してもらいたい。構内道路との接続に関しては、動線が単一というのはまさにその通り。タクシーの利用が少ないので、観光タクシー等、戦略的な取組が望まれる。名産品のアンテナショップ等楽しめる施設が増えるとよい。
- ・テナント施設の利用者が多いと思われるので、県や市の特産品をより多く取り揃えてもらえば利用機会が増えると考えます。
- ・ハンドリング全般としてエプロン側の動線や安全性も考慮して検討してもらいたい。
- ・特に国際線では、2つの航空会社が輻輳すると、チェックインカウンターの数が変わらない中で、各航空会社が別々のシステムを使って対応するため、チェックインが流れず、保安検査、搭乗まで遅れてしまい、2倍以上の遅れとなる。
保安検査場では、ゴルフバックはベルトコンベアに流せないなので手で運ぶ。長尺物を流せる保安検査機器が必要。カウンターでインライン検査も検討しても良いかもしれないが、かなりのスペースが必要。航空会社からの要求で多いのは、ラウンジの有無であり検討してもらいたい。
- ・すべての要望に応えるとなると2~3倍のスペースが必要かと思われる。検査機器についても最新型で省人化は図れるが、費用や故障の問題はある。
- ・茨城空港の良さは自動車でのアクセスの良さなので、エプロンとビルの拡張でその良さがなくならないよう、駐車場についても検討していきたい。二次交通も重要になるだろう。
- ・テナント施設については、国際線インバウンドだけでなく、来場者が多いというポテンシャルを考慮し検討していきたい。ニーズを調べて、コストを比較しながら検討していきたい。

(4) その他

特になし

以上